

小児のがん、自己免疫疾患でリハビリテーションを受けた

患者さん・ご家族の皆様へ

「長期入院児の体組成変化と運動機能変化についての調査」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部では、2019年1月1日から2028年12月31日までに鳥取大学医学部附属病院でがんまたは自己免疫疾患に対して入院して治療を行い、リハビリテーション時に体組成評価と運動機能評価が実施された20歳未満の小児の患者さんを対象に、カルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2019年1月1日から2028年12月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院でがんまたは自己免疫疾患に対して入院して治療を行い、リハビリテーション時に体組成評価と運動機能評価が実施された20歳未満の小児の患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、がんや自己免疫疾患によって長期入院した20歳未満の小児患者さんの体組成変化と運動機能の関係を調査しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報（測定項目）

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

性別、家族構成、付き添い家族の有無、評価時所見（年齢、身長、体重、診断名、確定診断日、臨床診断（Stage）、血液データ（白血球、好中球、赤血球、ヘモグロビン、血小板、CRP、アルブミン、総たんぱく質、D-dimer値、総コレステロール、リンパ球）、有害事象の有無、合併症、既往歴、入院日、退院日、理学療法開始日、理学療法終了日、理

学療法実施回数、抗がん剤投与期間、ステロイド投与期間、自主練習実施の有無、入院中の歯科治療の有無、院内学級への通学の有無

【治療の内容】

初回及び再発時について以下の治療内容を調査する。

治療例（治療開始日、治療内容：手術療法（実施の有無、手術術式）、化学療法（実施の有無、レジメン、実施コース数）、放射線療法（実施の有無）、造血幹細胞移植（実施の有無）、理学療法（有酸素運動、筋力トレーニング、バランス練習、動作練習）。

【経過状況】

再発時及び経過について以下の内容を調査する。

再発時：再発（増悪）確認日

経過状況確認時：最終生存確認日、最終経過状況

【理学療法評価】

体組成評価：体組成測定値（体重、体脂肪率、脂肪量、除脂肪量、筋肉量、推定骨量、体水分量、体水分率、Body Mass Index (BMI)、位相差）

運動機能評価：握力、大腿周径、下腿最大周径、片脚立位時間、10m歩行時間、6分間歩行距離

【機器に関する情報】体組成計：TANITA 社製、業務用マルチ周波数体組成計ポータブルタイプ、MC-780A-N

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2033年12月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来長期入院する20歳未満の小児患者に対する適切な理学療法の評価の実施に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション科およびリハビリテーション部の奨学寄附金（又はリハビリテーション科の研究費）で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られます

ので、第三者に患者さんの個人情報が増えることはありません。

10.知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11.問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

和田 崇 鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1
TEL：0859-38-6862/FAX：0859-38-6860

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)